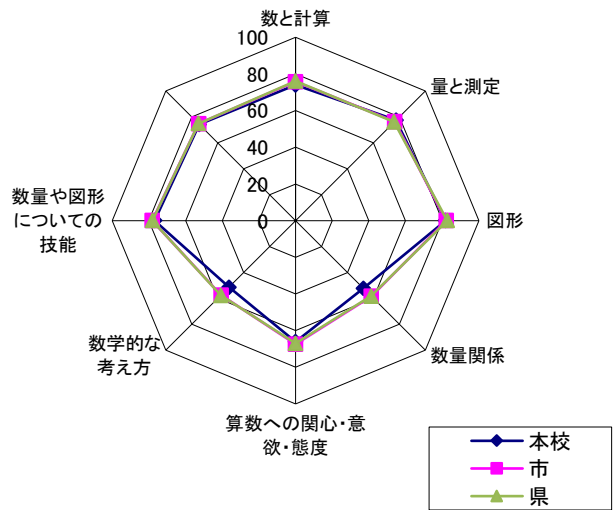


宇都宮市立横川中央小学校 第4学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	74.0	75.8	76.1
	量と測定	77.4	76.5	76.0
	図形	81.8	82.1	82.7
	数量関係	52.3	58.4	58.2
観点	算数への関心・意欲・態度	66.1	67.4	67.0
	数学的な考え方	51.3	57.5	57.7
	数量や図形についての技能	76.9	78.2	78.1
	数量や図形についての知識・理解	74.3	74.8	74.9



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	●平均正答率は74.0%で県より2.1ポイント下回っている。 ○「除法(余りあり)を適用して、文章問題の正しい答えを求めることができる」問題の正答率が87.5%で、県より7.9ポイント上回っている。 ●「文章問題を解くための除法の式を選ぶことができる」問題の正答率が52.3%で、県を12.6ポイント下回っている。	・朝の学習や授業、家庭学習等で計算問題に繰り返し取り組み、基礎基本の定着を図る。 ・文章を読んで図や絵などに表し、式を立てられるように繰り返し練習する。
量と測定	○平均正答率は77.4%で県より1.4ポイント上回っている。 ○「道のりの意味を理解している」の正答率が83.0%で県より7.2ポイント上回っている。 ●「はかりの目盛りの読み方を理解している」の正答率は72.7%で県より5.7ポイント下回っている。	・重さの単位についての理解を深めるとともに、重さの感覚を身に付ける。身の回りにあるいろいろなものを手に持って重さを感じたり、日常生活と関連させたりして重さの感覚を養うようにする。 ・宿題等で復習するなど、はかりに慣れるように繰り返し練習する。
図形	●平均正答率は81.8%で県より0.9ポイント下回っている。 ○「円の直径について理解している」の正答率は90.9%で、県より1.2ポイント上回っている。 ●「球の半径から、球が2個入った箱の辺の長さを求めることができる」問題の正答率が63.6%で、県より4.9ポイント下回っている。	・円や球の単位についての復習問題に定期的に取り組むようにし、確実な定着を図る。 ・問題文と図や絵を関連付けて考えていく習慣をつける。
数量関係	●平均正答率は52.3%で県より5.9ポイント下回っている。 ○「□を使った文章問題を表した図の構造をとらえることができる」の正答率は81.1%で県平均を1.7ポイント下回っている。 ●「グラフの目盛りの大きさと最も大きい値に着目して、棒グラフをかくことができない理由を説明することができる」問題の正答率が、無回答も多く12.5%で、県より9.1ポイント下回っている。	・グラフが正確に読み取れるよう、縦軸と横軸の関係を捉えて読む練習を繰り返し行う。 ・日頃から問題文や資料をよく読み、自分の考えを言葉で表現していく活動を増やしていく。